

最大震度7に対応する コンテナ型耐震シェルター

「まもルーム」は、海上輸送用コンテナの構造を応用したコンテナ型耐震シェルター。部屋の内部に鉄骨フレームを組み上げることで、最大震度7クラスの地震に対応する。自由設計に対応し、部屋全体をシェルター化することで、普段の生活空間を避難空間として活用できる。東京都をはじめ、数多くの都道府県の防災認定品で、自治体によっては補助金制度の対象となる。

共同開発：一級建築士阿竹研究所（名古屋市）



■特長

①最大震度7に対応する耐震性能

コンテナ構造の波板鋼材を採用し、最大震度7クラスの地震に対応。各種強度試験で安全性を検証。

②部屋全体を活用できる自由設計

部屋の広さや形状に合わせた設計が可能。高さや間口の調整にも対応し、部屋全体をシェルターとして活用できる。

③開放感を確保する構造設計

鉄骨ラーメン構造を採用しているため、筋交いや耐力壁を必要としない。広い開口部を確保でき、室内の明るさや開放感を維持できる。

④大規模改修を必要としない施工性

内壁・外壁に手を加えずに設置できるため、大掛かりな耐震補強工事を必要としない。既存住宅への導入にも対応しやすい。

⑤バリアフリーに配慮した設計

床段差を抑えた設計で、車椅子利用にも対応。



施工事例（まもルーム）



施工事例（まもルームスリム）

■スリム化と高強度を両立した「まもルームスリム」

従来型の柱や梁をスリム化しながら、同等以上の耐震性能を確保したタイプ。梁や柱を細くすることで室内の圧迫感を軽減し、居住空間をより有効に活用できる。

問い合わせ先

日本耐震シェルター協会（株式会社カラフルコンテナ） TEL0587-51-1236 <https://colorfulcontainer.com/mamoroom/>